

循環型社会形成推進地域計画

(大分ブロック地域)

平成25年11月

大分市・臼杵市・竹田市・由布市

目 次

1. 地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項	1
(1) 対象地域	
(2) 計画期間	
(3) 基本的な方向	
2. 循環型社会形成推進のための現状と目標	3
(1) 一般廃棄物等の処理の現状	
(2) 生活排水の処理の現状	
(3) 一般廃棄物等の処理の目標	
(4) 生活排水処理の目標	
3. 施策の内容	7
(1) 発生抑制、再使用の推進	
(2) 処理体制	
(3) 処理施設の整備	
(4) 施設整備に関する計画支援事業	
(5) その他の施策	
4. 計画のフォローアップと事後評価	15
(1) 計画のフォローアップ	
(2) 事後評価及び計画の見直し	

添付資料

- ・様式1 循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表1
- ・様式2 循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表2
- ・様式3 地域の循環型社会形成推進のための施策一覧
- ・資料1 対象地域図
- ・資料1－2 浄化槽整備計画図
- ・資料2 分別区分説明資料
- ・資料3 現有処理施設の概要
- ・資料4 指標に関するトレンドグラフ
- ・資料5 地域内の施設の現況と予定
- ・参考資料様式 1、2、4、5、6

循環型社会形成推進地域計画

大分市
臼杵市
竹田市
由布市

1 地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項

(1) 対象地域

◎ 一般廃棄物等の処理に関わる対象地域を以下とします。

構成市町村名 大分県大分市、臼杵市（野津処理区を除く）、竹田市、由布市
面 積 1,449.99 km²
人 口 569,803人（平成22年3月末現在）

都市名	大分市	臼杵市	竹田市	由布市
面 積 (km ²)	501.28	151.88	477.67	319.16
人 口 (人)	473,463	34,266	25,524	36,550

臼杵市は野津処理区（139.18km²、8,892人）を除く

※ 対象地域図（添付資料 1）

※ 生活排水の処理は、各市において行っている。

(2) 計画期間

本計画は、平成21年4月1日から平成27年3月31日までの6年間を計画期間とする。

なお、目標の達成状況や社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要な場合には計画を見直すものとする。

(3) 基本的な方向

大分地域は、大分県の扇状地域の要の位置にあつて、中心部にあつては商工業、郊外は壮大な自然に恵まれた中山間地帯である。

中心部にあつては都市化の進展に伴う人口増加や生活様式の変化により、排出されるごみは質的に多様化の傾向あり、その処理を複雑にしている。また、生活排水による水質汚濁もその一例である。

家庭系廃棄物については、平成19年4月の福宗環境センターリサイクルプラザの稼動に伴い、

分別収集区分を拡大したことにより平成１９年度は大幅に減少したところであるが、近年は横ばい状況にある。また、事業系廃棄物については「あわせ産業廃棄物」の受入れを禁止したことからその効果は現れている。

市民、事業者の理解と協力によりごみ減量と資源化の進展は見られるものの、依然として家庭系、事業系とも再生利用が可能なものが「ごみ」として排出されている状況が見られることなどから、分別の徹底と資源化の徹底が必要となっている。

こうしたことから、より一層のごみの発生抑制・再利用に向けた啓発・指導に取り組み、市民、事業者との協働のもと資源循環型社会の構築を目指す。

また、既存ごみ処理施設については、長寿命化を図り、安定したごみ処理を目指す。

生活排水に関する現状として、大分市は、平成１７年１月１日に佐賀関町及び野津原町と合併し、面積、人口とも増加しており、都市部と農村部が存在している状況である。平成２１年度末において、計画処理区域内人口の約２８％が生活雑排水を未処理のまま集落内、農業用水路等を通じて、河川等に排出している状況である。また、旧大分市地域は、都市化に伴って公共用水域、特に中小河川の水質汚濁が進行しており、平成３年９月２０日に水質汚濁防止法の規定に基づく「生活排水対策重点地域」の指定を受けている。佐賀関地区は瀬戸内海に面しており、生活雑排水が直接海域に流出していることや、野津原地区は、一級河川の大分川上流に位置し、本市上水道の水源にあることから、生活排水処理対策の必要性が極めて高い。

このようなことから、生活排水処理の重要性を認識し、生活排水処理施設の整備推進に努めるとともに、啓発活動等を通じて各家庭からの発生源対策を充実させることにより、公共用水域の水質環境基準の達成と身近な生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図ることを目標とする。

都市化された地域及び都市化が見込まれる地域は公共下水道、農業振興地域の内植田地区では農業集落排水施設、集合処理以外については合併処理浄化槽を、それぞれ計画的に整備する。

なお、公共下水道事業認可区域及び農業集落排水事業供用開始区域を除く全市域並びに、公共下水道認可区域内にあつては、当分の間（７年間）下水道整備が見込まれない地域において、生活雑排水の処理を推進するため既設単独処理浄化槽・汲み取り便槽から合併処理浄化槽への転換を進める。

また、生活排水処理については、従前よりそれぞれの自治体が地域の実情にあわせて整備を行っているため、広域化の検討までは至っていない。

2 循環型社会形成推進のための現状と目標

(1) 一般廃棄物等の処理の現状

平成21年度の一般廃棄物処理状況は図1のとおりである。

総排出量は、集団回収量も含め190,904トンであり、再生利用される「総資源化量」は41,459トン、リサイクル率は（＝直接資源化量＋中間処理後の再生利用量＋集団回収量）／（ごみの総処理量＋集団回収量）は21.7％である。

中間処理による減量化量は、135,763トンであり集団回収量を除いた排出量の73.3％が減量化されている。また、集団回収量を除いた排出量の7.4％に当たる13,682トンが埋め立てられている。

なお、中間処理のうち、焼却量は153,872トンである。各焼却施設では、焼却によって発生する熱を積極的に利用した高効率の発電設備を設置し、工場内の冷暖房及び給湯設備に利用するほか、余剰電力を電力会社に売電している。

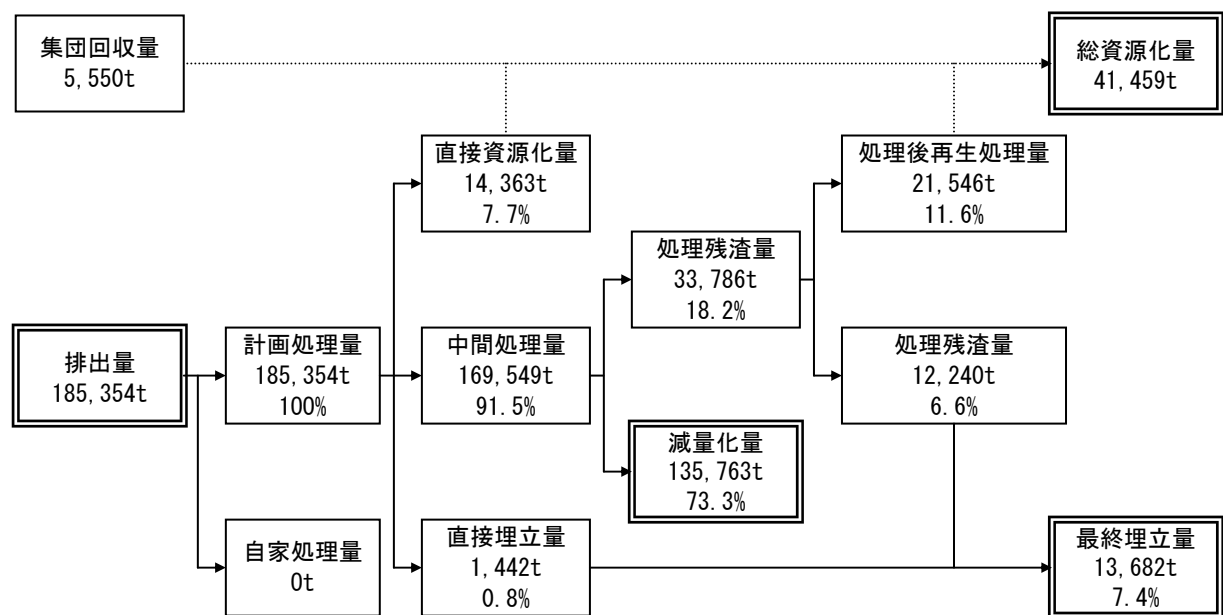


図1 一般廃棄物の処理フロー

（２）生活排水の処理の現状

平成２１年度の汚水処理状況及びし尿・汚泥等の処理・処分量（＝収集・運搬量）は次のとおりである。

汚水処理対象人口は全体で５３３，４０６人であり、汚水処理普及人口は３６８，６１６人、汚水処理人口普及率６９．１１％である。

し尿発生量は２７，６９０ｋｌ／年、浄化槽汚泥発生量は１３３，８３７ｋｌ／年である。

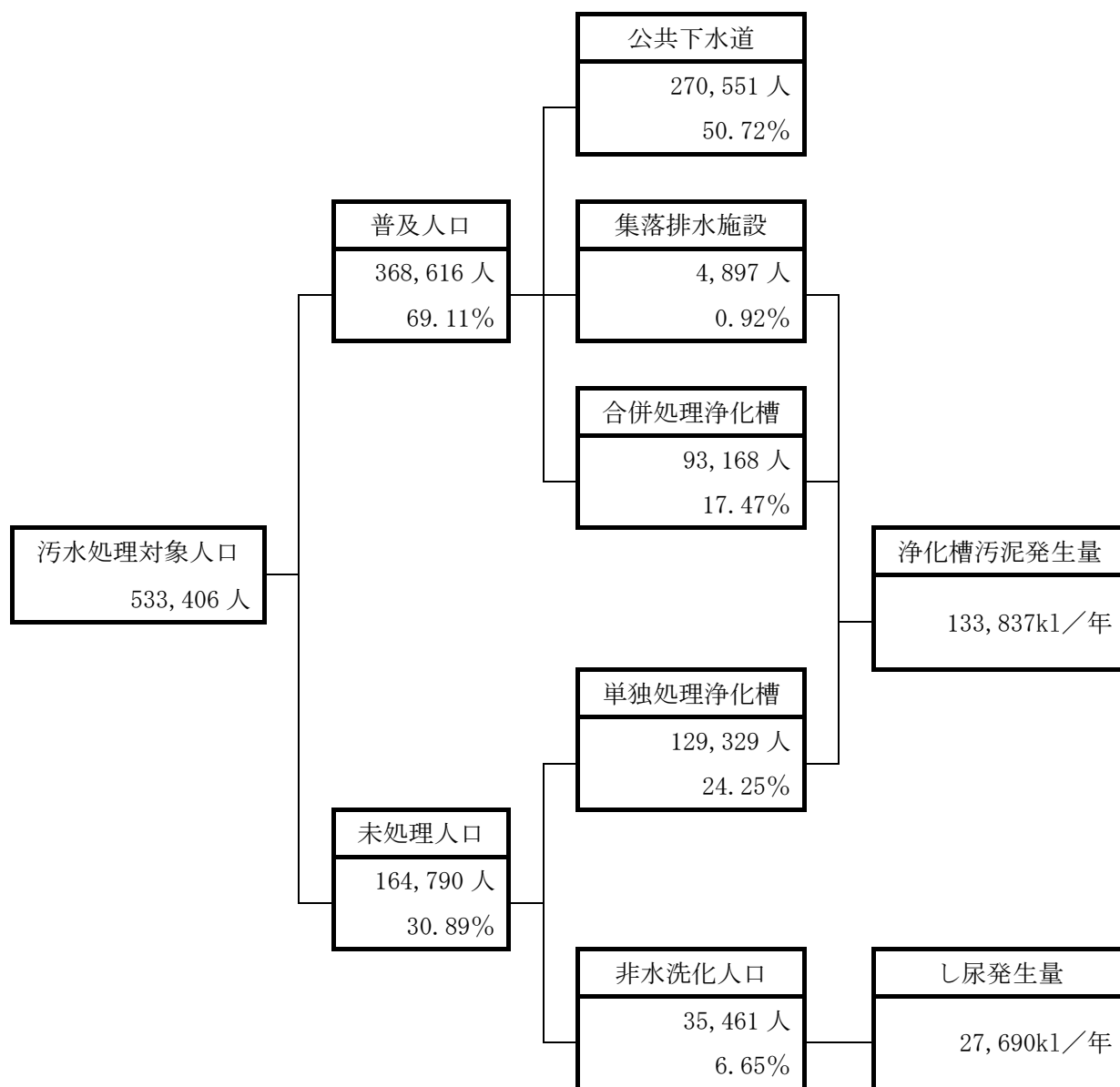


図２ 生活排水の処理フロー

(3) 一般廃棄物等の処理の目標

本計画の計画期間中においては、廃棄物の減量化を含め循環型社会の実現を目指し、表1のとおりに目標量について定め、それぞれの施策に取り組んでいくものとする。

表1 減量化、再生利用に関する現状と目標

指標・単位		現状(割合※1) 【平成21年度】	目標(割合※1) 【平成27年度】
排 出 量	事業系 総排出量 (トン)	53,578	41,666 (-22.2%)
	1事業所当たりの排出量※2 (トン/事業所)	2.0	1.6 (-20.0%)
	家庭系 総排出量 (トン)	131,776	123,530 (-6.3%)
	1人当たりの排出量※3 (kg/人)	228	214 (-6.1%)
	合計 事業系家庭系排出量合計 (トン)	185,354	165,196 (-10.9%)
再生利用量	直接資源化量 (トン)	14,363 (7.7%)	18,514 (11.2%)
	総資源化量 (トン)	41,459 (22.4%)	63,102 (38.2%)
熱回収量	熱回収量(年間の発電電力量) (Mwh)	43,307	39,989
減量化量	中間処理による減量化量 (トン)	135,763 (73.3%)	104,694 (63.4%)
最終処分量	埋立最終処分量 (トン)	13,682 (7.4%)	5,189 (3.1%)

※1 排出量は現状に対する割合、その他は排出量に対する割合

※2 (1事業所当たりの排出量) = (事業系ごみ総排出) / (事業所数)

※3 (1人当たりの排出量) = (家庭系ごみ総排出量) / (人口)

《指標の定義》

総排出量 : 総ごみ量から収集前の再資源化量を除いた量

総資源化量 : 集団回収量、直接資源化量、中間処理後の再生資源化量の和

熱回収量 : 熱回収施設において発電された年間の発電電力

減量化量 : 中間処理量と処理後の残渣量の差(総資源化量を除く)

最終処分量 : 埋立処分された量

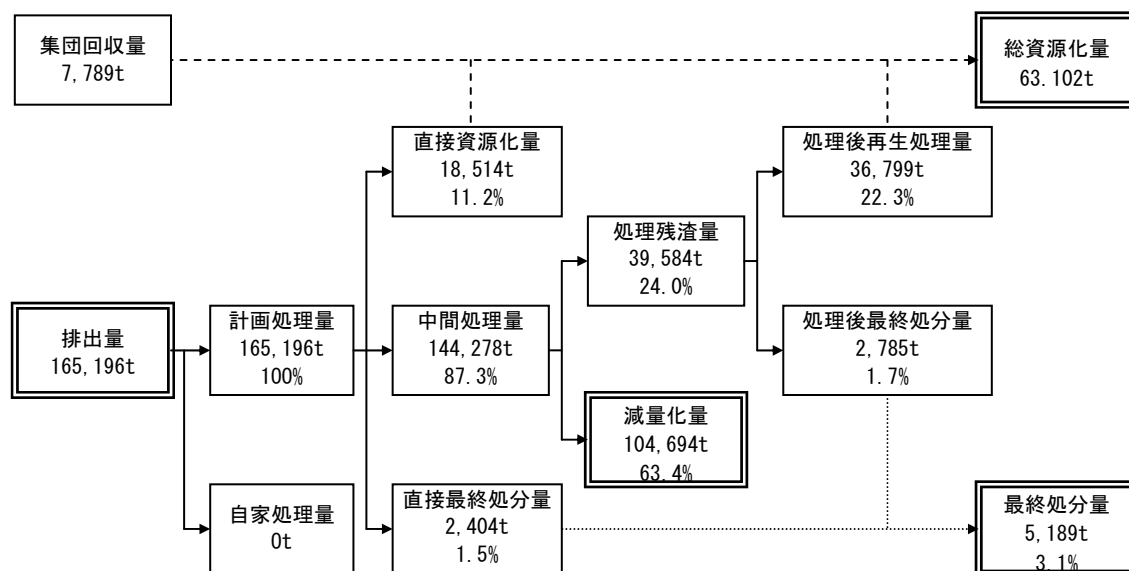


図3 目標達成時の一般廃棄物の処理状況フロー

(4) 生活排水処理の目標

生活排水の処理については、表 2 に掲げる目標のとおり、農業集落排水処理施設等への加入の促進及び合併処理浄化槽の整備を進めていくものとする。

表 2－1 生活排水処理に関する現状と目標(大分市)

処理形態別人口		平成 2 1 年度実績	平成 2 7 年度目標
	公共下水道	269,445 人 57.29 %	292,100 人 62.2 %
処理形態別人口	農業集落排水施設	1,740 人 0.37 %	1,912 人 0.4 %
	合併処理浄化槽	70,237 人 14.93 %	74,698 人 15.9 %
	未処理人口	128,871 人 27.41 %	101,090 人 21.5 %
	合 計	470,293 人	469,800 人
し尿・汚泥の量	汲み取りし尿量	18,540 kl	15,648 kl
	浄化槽汚泥量	106,072 kl	92,718 kl
	合 計	124,612 kl	108,366 kl

表 2－2 生活排水処理に関する現状と目標(竹田市)

処理形態別人口		平成 1 9 年度実績	平成 2 6 年度目標
	公共下水道	0 人	0 人
処理形態別人口	農業集落排水施設	1,754 人 6.6 %	2,382 人 9.5 % (H19 比 35.8%)
	合併処理浄化槽	7,627 人 28.8 %	9,620 人 38.5 % (H19 比 26.1%)
	未処理人口	17,120 人 64.6 %	12,998 人 52.0 % (H19 比 -24.1%)
	合 計	26,501 人	25,000 人
し尿・汚泥の量	汲み取りし尿量	3,670 kl	2,400 kl (H19 比 -34.6%)
	浄化槽汚泥量	10,171 kl	11,570 kl (H19 比 13.8%)
	合 計	13,841 kl	13,970 kl (H19 比 0.9%)

※各人口は、平成 2 0 年 3 月末住民基本台帳人口。

表 2－3 生活排水処理に関する現状と目標(由布市)

	平成 1 8 年度実績	平成 2 6 年度目標
総人口	36,612 人	36,957 人
公共下水道	1,106 人 3.0 %	1,027 人 2.8 %
農業集落排水施設	1,403 人 3.8 %	1,507 人 4.1 %
合併処理浄化槽	15,304 人 41.8 %	19,853 人 53.7 %
未処理人口	18,799 人 51.4 %	14,570 人 39.4 %

3 施策の内容

(1) 発生抑制、再使用の推進

ア 生ごみの減量化

家庭から排出される生ごみの減量化を図るため、生ごみ処理容器の貸与事業や、生ごみ処理機器の購入補助事業を行っている。

また、多様化する市民ニーズに対応するため、家庭で比較的手軽にできる段ボールコンポストの普及啓発に取り組んでいるところであり、今後とも、これらの事業の充実・拡大を図るとともに、より一層の生ごみの減量を推進する。

イ 有料化

大分ブロック地域では、臼杵市、竹田市、由布市において家庭ごみの有料化を導入している。

今後は、大分市も家庭ごみの有料化の導入に向けた具体的な検討を行うとともに、既に導入している市については、有料化後の不適正排出やリバウンドが生じないように、引き続き啓発活動に取り組む。

また、ごみの排出抑制や処理経費の削減等を目的とし、ごみ処理手数料の見直しについても検討する。

ウ 容器包装廃棄物の排出抑制

過剰包装等の抑制については、スーパーマーケット等での簡易包装の推進について、積極的な普及・啓発を行っていくものとする。

また、九州7県では、県民・事業者・行政が一体となりレジ袋の削減等に取り組み、ごみの減量化を推進する「マイバッグキャンペーン（買い物袋持参運動）」を実施している。

この取組について、市内のスーパーなどへ積極的に啓発を行うとともに、広報誌やホームページなどで紹介し、容器包装廃棄物の排出抑制を図る。

エ 再生品の使用等の推進

庁用品のうち事務用品やコピー用紙、トイレットペーパー等については、再生品の使用を推進するとともに、リターナブル容器や再生資源を原材料とする製品の積極的な利用と販売の促進等について検討を行う。

オ 廃食用油のリサイクル

家庭から排出される廃食用油を回収し、処理された燃料の再利用を図るとともに、廃食用油の回収やリサイクルエネルギーについての普及啓発を行う。

カ 環境教育、普及啓発

学校や地域社会の場における副読本等を活用した教育や、ごみ処理施設の見学会など、あらゆる機会を活用してごみ処理に関する情報を提供し、市民や事業者のごみ処理に対する認識の向上に努める。

また、ごみの分別方法に関する冊子や日程表を発行するほか、地域における分別説明会等を開催し、市民の分別意識の高揚を図る。

キ 生活排水対策

家庭等から排出される汚濁負荷量の削減のため、啓発活動の強化を図る。

- ・ 広報活動の実施
- ・ 廃油ポット、三角コーナーネット、拭取紙等の排出抑制用品の普及
- ・ 無リン洗剤、せっけんの使用啓発

また、合併処理浄化槽、農業集落排水加入者の増加に伴い、し尿搬入量の減少と汚泥搬入量の増加などの変化に対応し、効果的かつ搬入量に見合った施設の運転を行うため、老朽化した施設を改良、整備して長寿命化を図り、汚泥処理の効率化に努め適正な施設の運転を行う。

ク 浄化槽維持管理の徹底

- ・ 維持管理のパンフレットの配布
- ・ 維持管理の広報
- ・ 維持管理講習会の開催
- ・ 法定検査受検の広報
- ・ 戸別訪問による指導

(2) 処理体制

ア 家庭ごみの処理体制の現状と今後

分別区分及び処理方法については、別紙表 3-1～3 のとおりである。

臼杵市の野津処理区を除く大分ブロック地域では、大分市福宗環境センター及び佐野清掃センターにて可燃ごみの広域処理を行っている。

また、分別収集区分（品目）の周知徹底を図り、ごみの減量化及びリサイクルの推進に取り組んでいる。

今後は、生ごみの堆肥化などによる減量化を推進することにより、分別の徹底及びリサイクルの推進を図るとともに、現在、竹田市で混合収集されている資源ごみについて、品目ごとに分別し資源化を推進する。

臼杵市においては、臼杵処理区及び野津処理区でそれぞれ異なった処理体制となっているが、今後も現在の処理体制を継続していく方針とする。なお、臼杵市の不燃物処理施設については供用開始から約24年が経過しており老朽化が著しいことから、当該施設の更新を計画していく方針とします。

中間処理や最終処分の体制については、広域化の協議状況等によりその都度、整備方針を見直すこととする。

イ 事業系一般廃棄物の処理体制の現状と今後

大分市では、平成17年8月からリサイクル可能な紙類の清掃工場への持込みを禁止し、平成21年度には事業者向けの「事業系廃棄物の減量・適正処理の手引き」を作成した。今後とも、事業者への啓発活動やごみの分別指導を行うことにより、ごみ減量化とリサイクルを推進する。

臼杵市においても、平成21年4月よりこれまであわせ産廃として受入れを行っていた容器包

装廃棄物（ペットボトル、びん、缶、プラスチック製容器包装）の受入れを全面的に廃止するとともに、多量排出事業者に対してごみ減量化計画書の作成を指導することを視野に入れた対策を検討する。

竹田市では、家庭系ごみの分別区分に準じて処理を行い、リサイクル及び減量化を推進するとともに、事業系一般廃棄物のうち資源化に寄与する紙類等については、事業所から直接回収業者へ搬出するように協力要請を行っている。

ウ 一般廃棄物処理施設で併せて処理する産業廃棄物の現状と今後

産業廃棄物の受入は全面禁止としている。

ただし、下水道汚泥の処理にあつては、緊急時のみ受入れを行う。

エ 生活排水の現状と今後

生活排水の現状として、単独処理浄化槽は汚濁負荷が高く水質汚濁の要因となっている。

大分市では、し尿、浄化槽汚泥（農業集落排水処理施設からの汚泥を含む）を、し尿処理施設において処理し、生じた汚泥を脱水後焼却処分しているが、焼却灰の一部はセメント原料として再資源化している。

竹田市においては、し尿、浄化槽汚泥（農業集落排水からの汚泥を含む）を、し尿処理施設において処理し、生じた汚泥は脱水後（し尿汚泥肥料「まんさく」として登録）引き続き農地還元を行い再生利用している。

今後も引き続き、公共下水道及び農業集落排水処理施設が整備されていない地域での合併処理浄化槽の整備を進める。

また、下水道事業計画区域内の地域であっても、下水道の整備が当分の間（7年間）見込まれない地域は浄化槽整備区域として既設単独処理浄化槽・汲み取り便槽から合併処理浄化槽への転換を進める。

老朽化した施設については、改良・整備により長寿命化を図り、汚泥処理の効率化に努め適正な施設の運転を行っていく。

オ 今後の処理体制の要点

- ◇ 生ごみ減量のため、ひと絞り運動や堆肥化等を促進する。
- ◇ 家庭ごみの有料化の実施に向けた検討を行うとともに、リバウンド現象が生じないよう啓発活動を継続する。
- ◇ 市民及び事業者に対し、減量化・分別の徹底について啓発活動を行う。
- ◇ 老朽化した施設については、大規模改修等により長寿命化を図り安定した処理が行えるよう整備する。
- ◇ 生活排水対策に関する普及啓発を推進する。
- ◇ 単独処理浄化槽及び汲み取り便槽の合併処理浄化槽への転換を促進する。
- ◇ 臼杵市においては、老朽化した不燃物処理施設の更新を計画していく方針とする。

表 3-1 大分地域各市町村の家庭ごみの分別区分と処理方法の現状と今後

現 状(H21年)								今 後(H26年)						
大分市				広域市(由布市・竹田市・臼杵市)				分別区分	処理(一次)方法		処理施設等		処理計画 (トン)	分別区分
分別区分	処理 方法	処理施設	処理実績 (トン)	分別区分	処理 方法	処理施設	処理実績 (トン)				一次処理	二次処理		
燃やせる ごみ	焼却 溶融	福宗清掃工場 佐野清掃工場	87,139	燃やせる ごみ	焼却 溶融	福宗清掃工場 佐野清掃工場	15,032	燃やせる ごみ	焼却 溶融	焼却 発電 溶融	福宗清掃工場 佐野清掃工場	焼却灰はリサイ クル、スラグ・メタルは 売却	79,407	燃 や せ る ごみ
燃やせない ごみ	破碎 埋立	リサイクルプラザ 鬼崎埋立場 佐野清掃センター	5,122	燃やせない ごみ	破碎 埋立	リサイクルプラザ 鬼崎埋立場 佐野清掃センター	438	燃やせない ごみ	破碎 埋立	破碎 選別	リサイクルプラザ 鬼崎埋立場 佐野清掃センター	焼却 埋立	7,350	燃 や せ な いごみ
缶・びん	リ サ イ ク ル (選 別 保 管)	リサイクルプラザ	4,493	缶・びん	リ サ イ ク ル (選 別 保 管)	リサイクルプラザ	329	缶・びん	リ サ イ ク ル	選 別 保 管	リサイクルプラザ		9,682	缶・びん
ペットボトル			1,492	ペットボトル			74	ペットボトル					3,221	ペットボト ル
プラスチック 製容器包装			3,014	プラスチック 製容器包装			110	プラスチック 製容器包装					6,499	プラスチッ ク製容器包 装
蛍光管・電球 ・水銀体温計			227	蛍光管・電球 ・水銀体温計			23	蛍光管・電球 ・水銀体温計					159	蛍光管・電 球・水銀体 温計
新聞類・その 他紙類・布類		大分リサイクル事 業協同組合	14,162	新聞類・その 他紙類・布類				新聞類・そ の 他 紙 類 ・布類			大分リサイクル事業 協同組合		18,442	新聞類・そ の他紙類・ 布類
大型多量 ごみ	破碎 埋立	リサイクルプラザ 鬼崎埋立場 佐野清掃センター	(燃やせない ごみに 含む)	大型多量 ごみ	破碎 埋立	リサイクルプラザ 鬼崎埋立場 佐野清掃センター	(燃やせない ごみに 含む)	大型多量 ごみ	破碎 埋立	破碎 選別	リサイクルプラザ 鬼崎埋立場 佐野清掃センター	焼却 埋立 (自転車・家具は再 生)	(燃やせない ごみに 含む)	大 型 多 量 ごみ

※ 分別区分については、区分された廃棄物が具体的どのような廃棄物を指すかを別紙により説明

表 3-2 臼杵市の家庭ごみの分別区分と処理方法の現状と今後

現 状 (H19年)				
分別区分	処理方法	処理施設等		処理実績 (トン)
		一次処理	二次処理	
もやせるごみ	臼杵: 溶融処理 野津: 焼却	臼杵: 佐野清掃センター 野津: 豊後大野市清掃センター	臼杵: 資源化 野津: 残渣類 (埋立)	6,011
もやせないごみ	破碎・選別	臼杵: 臼杵市不燃物処理センター 野津: 豊後大野市清掃センター	資源化・残渣類 (埋立)	274
粗大ごみ	破碎・選別	臼杵: 臼杵市不燃物処理センター 野津: 豊後大野市清掃センター	資源化・残渣類 (埋立)	637
プラスチック製 容器包装	委託処理	民間施設	資源化	546
ペットボトル	委託処理	民間施設	資源化	121
有価びん	臼杵: 委託処理 野津: 選別・保管	臼杵: 民間施設 野津: 豊後大野市清掃センター	資源化・残渣類 (埋立)	18
カレット	臼杵: 委託処理 野津: 選別・保管	臼杵: 民間施設 野津: 豊後大野市清掃センター	資源化・残渣類 (埋立)	267
缶	臼杵: 委託処理 野津: 選別・保管	臼杵: 民間施設 野津: 豊後大野市清掃センター	資源化・残渣類 (埋立)	185
古紙類	委託処理	民間施設	資源化	1,199
資源ごみ (野津処理区分)	選別・圧縮・保管	豊後大野市清掃センター (資源化施設)	資源化・残渣類 (埋立)	346

今 後 (H26年)					
分別区分	処理方法	処理施設等		処理実績 (トン)	
		一次処理	二次処理		
もやせるごみ	臼杵: 溶融処理 野津: 焼却	臼杵: 佐野清掃センター 野津: 豊後大野市清掃センター	臼杵: 資源化 野津: 残渣類 (埋立)	5,845	
もやせないごみ	破碎・選別	臼杵: 臼杵市不燃物処理センター 野津: 豊後大野市清掃センター	資源化・残渣類 (埋立)	163	
粗大ごみ	破碎・選別	臼杵: 臼杵市不燃物処理センター 野津: 豊後大野市清掃センター	資源化・残渣類 (埋立)	491	
プラスチック製 容器包装	指定法人ルート	臼杵: 民間施設 野津: 豊後大野市清掃センター(資源化施設) 民間施設(保管設備として併用)	臼杵市ストックヤード: 資源化	259	
			資源化	74	
ペット ボトル	臼杵処理区	指定法人ルート	臼杵: 民間施設 野津: 豊後大野市清掃センター(資源化施設)	臼杵市ストックヤード: 資源化	77
	野津処理区		資源化	15	
びん類	臼杵処理区	委託処理	民間施設	資源化	244
	野津処理区	選別・保管	豊後大野市清掃センター(資源化施設)	資源化	52
缶・金属類	臼杵処理区	委託処理	民間施設	臼杵市ストックヤード: 資源化	94
缶類	野津処理区	選別・保管	豊後大野市清掃センター(資源化施設)	資源化	20
古紙類	臼杵処理区	委託処理	民間施設	臼杵市ストックヤード: 資源化	826
	野津処理区	保管	豊後大野市清掃センター(資源化施設)	資源化	180
乾電池	臼杵処理区	委託処理	民間施設	資源化	15
	野津処理区	委託処理	豊後大野市清掃センター(資源化施設)	資源化	2
蛍光管	臼杵処理区	委託処理	民間施設	資源化	6
	野津処理区	委託処理	豊後大野市清掃センター(資源化施設)	資源化	1
その他資源化物	野津処理区	選別・圧縮・保管	豊後大野市清掃センター(資源化施設)	資源化	41

※ 分別区分については、区分された廃棄物が具体的にどのような廃棄物を指すかを別紙により説明

表 3 - 3 竹田市の家庭ごみの分別区分と処理方法の現状と今後

現 状 (H19年)					
分別区分		処理方法		処理施設等	
				二次処理	処理実績 (t/年)
可燃ごみ		焼却	発電・余熱利用	清掃センター 中継施設	大分市 福宗環境センター
不燃ごみ		磁選 選別	有価物回収 (鉄類)	清掃センター 前処理施設	清掃センター 最終処分場
粗大 ごみ	不燃性	選別	有価物回収 (鉄類)	清掃センター 前処理施設	
	可燃性	破碎処理		清掃センター 2軸破碎施設	大分市 福宗環境センター
土砂類		埋立処分		清掃センター 最終処分場	
資源 ごみ	金属類	リサイクル	委託	清掃センター ストックヤード	清掃センター 最終処分場
	びん類				
	ペット				
	ボトル				
古紙類		リサイクル	委託	清掃センター ストックヤード	
廃プラスチック		リサイクル	委託	清掃センター ストックヤード	
今 後 (H26年)					
分別区分		処理方法		処理施設等	
				二次処理	処理 実績 (t/年)
可燃ごみ		焼却	発電・余熱利用	清掃センター 中継施設	大分市福宗 環境センター
不燃ごみ		磁選選別	有価物回収 (アルミ、鉄類)	清掃センター リサイクルセンター	清掃センター 最終処分場
粗大ごみ	不燃性	選別	有価物回収 (鉄類)	清掃センター リサイクルセンター	清掃センター 最終処分場
	可燃性	破碎処理		清掃センター リサイクルセンター	大分市福宗 環境センター
土砂類		埋立処分		清掃センター 最終処分場	
金属類		リサイクル	選別・圧縮	清掃センター リサイクルセンター	清掃センター 最終処分場
びん類		リサイクル	選別・貯留	清掃センター リサイクルセンター	清掃センター 最終処分場
ペットボトル		リサイクル	選別・圧縮・梱包	清掃センター リサイクルセンター	
古紙類		リサイクル	選別・圧縮・梱包	清掃センター リサイクルセンター	
廃プラスチック		リサイクル	選別・圧縮・梱包	清掃センター リサイクルセンター	

(3) 処理施設の整備

ア 廃棄物処理施設

上記(2)の統一後の分別区分及び処理体制で処理を行うため、表4のとおり必要な施設整備を行う。

表4 整備する処理施設

事業番号	整備施設種類	事業名	処理能力	事業地	事業期間
1	福宗環境センター 清掃工場	福宗環境センター清掃工場 長寿命化事業	146t/日*3炉	大分市大字福宗	H24～26
2-1	マテリアル リサイクル推進施設	(仮称)ストックヤード 整備 工事(解体工事)		臼杵市大字 久木小野地内	H23
2-2	マテリアル リサイクル推進施設	(仮称)ストックヤード 整備工事(本体工事)	約450m ²	臼杵市大字 久木小野地内	H25
3	マテリアルリサイクル 推進施設	リサイクルセンター 整備事業	6.7t/5h	竹田市荻町馬背 野地内	H21～H23
4	し尿処理施設	竹田市衛生センター 長寿命化事業	40KL/日	竹田市大字 片ヶ瀬地内	H25

(整備理由)

- 事業番号1 既存施設の老朽化による機能低下に対処するため、長寿命化整備計画に基づき施設の大規模改造を行う。
- 2 民間施設で圧縮処理した資源化物や、臼杵市不燃物処理センター(不燃ごみ)で発生する資源化物の保管場所が不足している状況にあるため、ストックヤードを整備するものである。
- 3 老朽化した不燃ごみ処理施設を建て替え、不燃ごみ及び資源ごみの分別・圧縮・梱包の処理を一体的に行うための施設整備
- 4 老朽化した既存のし尿処理施設を長寿命化し、汚泥処理の効率化・省エネルギー化するための基幹的設備改良

イ 合併浄化槽の整備

合併浄化槽の整備については、表5のとおり行う。

表5 合併処理浄化槽への移行計画

事業	直近の整備済 基数(基) (平成21年度)	整備計画 基数 (基)	整備計画 人口 (人)	事業期間
(大分市) 浄化槽設置整備事業	7,588	1,428	7,810	H22～H26
(竹田市) 浄化槽市町村整備推進事業	2,015	738	2,109	H21～H35
(由布市) 浄化槽設置整備事業	3,328	1,200	3,600	H21～H26
合計	12,931	3,366	13,519	

(4) 施設整備に関する計画支援事業

(3) の施設整備に先立ち、表6のとおり計画支援事業を行う。

表6 実施する計画支援事業

事業番号	事業名	事業内容	事業期間
31	臼杵市清掃センター（焼却施設）解体工事（事業番号2-1）に係る事前調査業務	事前調査	H21
32	臼杵市清掃センター（焼却施設）解体工事（事業番号2-1）に係る基本計画・発注仕様書等作成業務	基本計画書 技術評価書 発注仕様書	H22
33	（仮称）臼杵市ストックヤード整備工事（事業番号2-2）に係る実施設計業務	実施設計	H24
34	竹田市リサイクルセンター整備事業（事業番号3）に係る基本設計業務	基本設計	H21 ～H22
35	竹田市リサイクルセンター整備事業（事業番号3）に係る生活環境影響調査業務	生活環境影響調査	H21 ～H22
36	竹田市リサイクルセンター整備事業（事業番号3）に係る実施設計業務	実施設計	H21 ～H22
37	不燃ごみ処理設備更新工事に伴う発注者支援業務	基本計画書 技術評価書 発注仕様書	H26

（整備理由）

事業番号31 供用開始から13年が経過し既存施設の老朽化による機能低下に対処するため、長寿命化整備計画策定を行う。

(5) 廃棄物処理における長寿命化計画策定支援事業

ごみ処理施設の長寿命化計画を策定するために、表7のとおり策定支援事業を行う。

表7 長寿命化計画策定支援事業

事業番号	事業名	事業内容	事業期間
41	福宗環境センター清掃工場長寿命化計画策定業務	福宗環境センター清掃工場の長寿命化計画の計画策定業務	H23
42	竹田市衛生センター長寿命化計画策定業務	竹田市衛生センターの長寿命化計画の計画策定業務	H24

(6) その他の施策

ア 廃家電等のリサイクルの推進

廃家電等（家電4品目、パソコン）については、特定家庭用機器再商品化法や資源有効利用促進法に基づいて、適切な回収又は再商品化がなされるよう、関係団体や小売店等と協力し普及啓発を継続・強化する。

イ 災害時の廃棄物処理に関する事項

それぞれの市町村が策定した災害廃棄物処理計画を踏まえ、災害時に発生する廃棄物の広域的処理体制の確保を図るため、地域内及び周辺地域との連携体制を構築する。

ウ 不法投棄対策

不法投棄撲滅のため、パトロール活動やキャンペーン等による啓発の充実を図る。

また、地域における活動等との連携を図るとともに、監視・指導の強化並びに早期発見・早期撤去と再発防止に取り組み、市民や事業者のモラルの向上と不法投棄されにくい環境の整備に努める。

4 計画のフォローアップと事後評価

(1) 計画のフォローアップ

大分地域は毎年、計画の進捗状況を把握し、その結果を公表するとともに、必要に応じて大分地域各市、大分県及び国と意見交換をしつつ、計画の進捗状況を勘案し計画の見直しを行う。

(2) 事後評価及び計画の見直し

計画期間終了後、処理状況の把握を行い、その結果が取りまとまった時点で、速やかに計画の事後評価、目標達成状況の評価を行う。

また、評価の結果を公表するとともに、評価結果を次期計画策定に反映させるものとする。なお、計画の進捗状況や社会情勢の変化等を踏まえ、必要に応じ計画を見直すものとする。

様式 1

循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表 1 (平成22年度)

1 地域の概要

(1) 地域名	大分地域	(2) 地域内人口	569, 803人	(3) 地域面積	1, 449. 99km ²
(4) 構成市町村等名	大分市、臼杵市（野津処理区を除く）、竹田市、由布市	(5) 地域の要件*	人口 面積 沖縄 離島 奄美 豪雪 山村 半島 過疎 その他		
(6) 構成市町村に一部事務組合等が含まれる場合、当該組合の状況	組合を構成する市町村：由布市、旧野津原町（大分市） 設立年月日：昭和45年7月30日設立				

* 交付要綱で定める交付対象となる要件のうち、該当する項目全てに○を付ける。

2 一般廃棄物の減量化、再生利用の現状と目標

指標・単位		過去の状況・現状(排出量に対する割合)						目 標
		平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成27年度
排 出 量	事業系 総排出量(トン)	134,077	117,085	106,719	60,040	52,864	53,578	41,666(H21比 -22%)
	1事業所当たりの排出量(トン/事業所)	5.6	4.7	4.2	2.4	2.1	2.0	1.6
	家庭系 総排出量(トン)	145,107	141,661	142,159	133,497	134,641	131,776	123,530(H21比 -6%)
	1人当たりの排出量(kg/人)	256	248	248	233	234	228	214
合 計 事業系家庭系排出量合計(トン)		279,184	258,746	248,878	193,537	187,505	185,354	165,196(H21比 -11%)
再 生 利 用 量	直接資源化量(トン)	16,544(6%)	16,704(7%)	17,461(7%)	17,053(9%)	15,533(8%)	14,363(8%)	18,514(11%)
	総資源化量(トン)	48,624(17%)	45,913(18%)	50,283(20%)	41,960(22%)	44,045(24%)	41,459(22%)	63,102(38%)
熱 回 収 量	熱回収量(年間の発電電力量 MWh)	79,933	77,052	73,676	52,727	49,051	43,307	39,989
中間処理による減量化量	減量化量(中間処理前後の差 トン)	168,629(60%)	162,225(63%)	157,277(63%)	139,526(72%)	136,469(73%)	135,763(73%)	104,694(63%)
最 終 処 分 量	埋立最終処分量(トン)	69,701(25%)	58,041(22%)	48,810(20%)	18,239(9%)	12,796(7%)	13,682(7%)	5,189(3%)

3 一般廃棄物処理施設の現況と更新、廃止、新設の予定

施設種別	事業 主体	現有施設の内容				更新、廃止、新設の内容					備 考
		型式及び処理方式	補助の 有無	処理能力 (単位)	開始 年月	更新、廃止 予定年月	更新、廃止 新設理由	型式及び 処理方式	施設竣工 予定年月	処理能力 (単位)	
熱回収施設	大分市	全連続燃焼式ストーカ炉	有	438(t/日)	H9. 4	H24. 4更新予定	長寿命化	全連続燃焼式 ストーカ式	H27. 3予定	438t/日	
		シャフト炉式ガス化溶融炉	有	387(t/日)	H15. 4	—	—	—	—	—	
最終処分場		セル方式	有	1, 124, 000(m³)	S61. 9	—	—	—	—	—	
			有	2, 840, 000(m³)	S47. 12	—	—	—	—	—	
			有	22, 000(m³)	H10. 2	—	—	—	—	—	
し尿処理施設		前処理、前曝気、 固液分離、凝集処理、希釈 調整、下水道放流	無	390(kI/日)	H14. 4	—	—	—	—	—	
マテリアルリサイクル		資源ごみ、不燃ごみ、粗 大ごみ	有	166t/10h	H19. 4	—	—	—	—	—	
豊後大野市清掃セン ター	豊後 大野市	准連続燃焼式流動床炉	有	50t/日	H10. 4						継続使用
豊後大野市清掃セン ター（資源化施設）		選別・圧縮・保管	有	22t/日	H10. 4						継続使用
臼杵市清掃センター	臼杵市	准連続燃焼式流動床炉	有	50t/日	H元. 4	H15. 3月 廃止	老朽化及び新炉整 備				解体後 跡地利用
臼杵市不燃物処理セ ンター（不燃ごみ）		破碎・選別	有	15t/日	H元. 4	H28年度中	老朽化	選別・破碎・圧縮	H28年度中	約4t/日	更新
臼杵市不燃物処理セ ンター（粗大ごみ）		破碎・選別	有	15t/日	H16. 8						継続使用
臼杵市不燃物処理セ ンター		遮水シート+ ベントナイト混合土	有	71, 000m3	H16. 8						継続使用
（仮称）臼杵市ストッ クヤード			有				資源物の保管スペ ース確保	保管	H26. 3	約 450m2	新設
中継施設	竹田市	コンパクター（圧縮）＋ コンテナ方式	有	32t/日	H14. 12						
前処理施設		破碎・選別・圧縮・保管	有	10t/5h	S56. 3	H24. 3	施設の老朽化				
最終処分場		管理型処分場	有	34, 625m2	S59. 3						
リサイクルセンター						H24. 3	既存施設老朽化 資源回収機能向上	破碎・選別・圧縮・ 梱包	H24. 3	10t/5h	
し尿処理施設			標準脱窒素処理	有	40kl/日	H2. 4	H25. 4 更新予定	施設の老朽化によ る改修(長寿命化)	標準脱窒素処理	H26. 3	40kl/日

※ 計画地域内の施設の状況(現況、予定)を地図上に示したものを添付する。

4 生活排水処理の現状と目標

【大分市】

指標・単位		年	過去の状況・現状(排出量に対する割合)						目 標
			平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成27年度
総 人 口			460,849	462,268	464,018	466,886	468,700	470,293	469,800
公 共 下 水 道	汚水衛生処理人口		232,031	237,048	242,685	248,973	262,029	269,445	292,100
	汚水処理人口普及率		50.3%	51.3%	52.3%	53.3%	55.9%	57.3%	62.2%
集 落 排 水 施 設 等	汚水衛生処理人口		1,661	1,729	1,636	1,693	1,708	1,740	1,912
	汚水処理人口普及率		0.4%	0.4%	0.4%	0.4%	0.4%	0.4%	0.4%
合 併 処 理 浄 化 槽	汚水衛生処理人口		68,643	73,361	75,697	77,390	69,353	70,237	74,698
	汚水処理人口普及率		14.9%	15.9%	16.3%	16.6%	14.8%	14.9%	15.9%
未 処 理 人 口			158,514	150,130	144,000	138,830	135,610	128,871	101,090

【竹田市】

指標・単位		年	過去の状況・現状(排出量に対する割合)						目 標
			平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成27年度
総 人 口			27,720	27,479	26,916	26,501	26,313	26,125	25,000
公 共 下 水 道	汚水衛生処理人口		-	-	-	-			-
	汚水処理人口普及率								
集 落 排 水 施 設 等	汚水衛生処理人口		1,737	1,728	1,704	1,754	1,833	1,912	2,382
	汚水処理人口普及率		6.3%	6.3%	6.3%	6.6%	7.0%	7.3%	9.5%
合 併 処 理 浄 化 槽	汚水衛生処理人口		7,208	7,385	7,468	7,627	7,876	8,125	9,620
	汚水処理人口普及率		26.0%	26.9%	27.7%	28.8%	29.9%	31.1%	38.5%
未 処 理 人 口	汚水衛生未処理人口		18,775	18,366	17,744	17,120	16,605	16,090	12,998
			67.7%	66.8%	65.9%	64.6%	63.1%	61.6%	52.0%

【由布市】

指標・単位		年	過去の状況・現状(排出量に対する割合)						目 標
			平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成27年度
総	人	口	36,758	36,640	36,612	36,655	36,698	36,741	37,000
公 共 下 水 道	汚水衛生処理人口		1,114	1,117	1,106	1,094	1,083	1,072	1,019
	汚水処理人口普及率		3.0%	3.0%	3.0%	3.0%	3.0%	2.9%	2.8%
集 落 排 水 施 設 等	汚水衛生処理人口		1,666	1,699	1,403	1,418	1,433	1,446	1,517
	汚水処理人口普及率		4.5%	4.5%	3.8%	3.9%	3.9%	3.9%	4.1%
合 併 処 理 浄 化 槽	汚水衛生処理人口		18,128	18,329	15,304	15,909	16,502	17,084	20,383
	汚水処理人口普及率		41.8%	50.0%	41.8%	43.4%	45.0%	46.5%	55.1%
未	処 理	人 口	15,850	15,525	18,799	18,234	17,680	17,139	14,081

5 浄化槽の整備の状況と更新、廃止、新設の予定

施設種別	事業 主体	現有施設の内容			整備予定基数の内容			備 考
		基数	処理人口	開始年月	基数	処理人口	目標年次	
浄化槽設置整備事業	大分市	7,588	29,604	S63.4	1,428	7,810	平成26年度	
浄化槽設置整備事業	竹田市	1,513	6,121	S63.4				H17年度で廃止
浄化槽市町村整備推進事業		502	1,499	H16.8	738	1,740	平成26年度	H21～H25
浄化槽設置整備事業	由布市	3,328	20,865	H18.4	1,200	3,600	平成27年度	H21～H26

様式 2

循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表 2（平成22年度）

事業種別	事業 番号 ※1	事業主体 名称※2	規模		事業期間 交付期間		総事業費(千円)							交付対象事業費(千円)							備考
			単位		開始	終了		平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度		平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	
○再生事業に関する事業							1,304,700	106,100	274,200	844,400		80,000		1,304,700	106,100	274,200	844,400		80,000		
(仮称)臼杵市ストックヤード	2				H23	H25	289,000			209,000		80,000		289,000			209,000		80,000		
解体撤去工事 ストックヤード	2-1 2-2	臼杵市 臼杵市	— —	— —	H23 H25	H23 H25	209,000 80,000			209,000			80,000	209,000 80,000			209,000			80,000	
リサイクルセンター設置	3	竹田市	6.7	t/日	H21	H23	1,015,700	106,100	274,200	635,400				1,015,700	106,100	274,200	635,400				
○廃棄物処理施設の基幹的設備改良事業							2,541,999				797,608	1,274,640	469,751	2,010,728				684,570	1,002,851	323,307	
熱回収施設整備	1	大分市	438	t/日	H24	H26	2,362,999				797,608	1,095,640	469,751	1,831,728				684,570	823,851	323,307	
竹田市衛生センター整備	4	竹田市	40	kl/日	H25	H25	179,000					179,000		179,000					179,000		
○浄化槽に関する事業	5						1,853,664	201,182	323,023	305,604	331,933	315,737	376,185	1,410,908	145,450	240,110	235,780	262,752	236,442	290,374	
浄化槽設置整備		大分市	1,428	基	H22	H26	646,572		121,841	104,422	130,751	114,555	175,003	538,208		94,660	90,330	117,302	90,992	144,924	
浄化槽設置整備		竹田市	738	基	H21	H35	766,632	127,772	127,772	127,772	127,772	127,772	127,772	725,880	120,980	120,980	120,980	120,980	120,980	120,980	
浄化槽設置整備		由布市	1,200	基	H21	H26	440,460	73,410	73,410	73,410	73,410	73,410	73,410	146,820	24,470	24,470	24,470	24,470	24,470	24,470	

事業種別	事業 番号 ※1	事業主体 名称※2	規模	事業期間 交付期間			総事業費(千円)								交付対象事業費(千円)								備考
				単位	開始	終了		平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度		平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度			
○施設整備に関する計画支援 に関する事業							42,900	24,900	10,500	0	3,000		4,500	42,900	24,900	10,500	0	3,000		4,500			
臼杵市清掃センター(焼却施設)解体工事に係る事前調査業務	31	臼杵市			H21	H21	5,000	5,000						5,000	5,000								
臼杵市清掃センター(焼却施設)解体工事に係る基本計画・発注仕様書等作成業務	32	臼杵市			H22	H22	3,000		3,000					3,000		3,000							
(仮称)臼杵市ストックヤード整備工事に係る実施設計業務	33	臼杵市			H24	H24	3,000				3,000			3,000				3,000					
リサイクルセンター整備の基本設計	34	竹田市			H21	H22	14,300	12,200	2,100					14,300	12,200	2,100							
リサイクルセンター整備に係る生活環境影響調査	35	竹田市			H21	H22	2,500	1,600	900					2,500	1,600	900							
リサイクルセンター整備の実施設計	36	竹田市			H21	H22	10,600	6,100	4,500					10,600	6,100	4,500							
不燃ごみ処理設備更新工事に伴う発注者支援業務	37	臼杵市			H26	H26	4,500						4,500	4,500						4,500			
○廃棄物処理における長寿命 化計画策定支援事業							8,500			3,500	5,000			8,500			3,500	5,000					
福宗環境センター長寿命化 計画策定業務	41	大分市	438	t/日	H23	H23	3,500			3,500				3,500			3,500						
竹田市衛生センター長寿命 化計画策定業務	42	竹田市			H24	H24	5,000				5,000			5,000				5,000					
合計							5,741,002	332,182	609,386	1,172,586	1,266,477	1,679,685	680,686	5,272,320	276,450	526,796	1,089,996	1,183,887	1,597,095	598,096			

※1 事業番号については、計画本文3(3)表4に示す事業番号及び様式3の施設整備に関する事業番号と一致させること。また、様式3に示す施策のうち関連するものがあれば、合わせて番号を記入すること。

※2 広域連合、一部事務組合等については、欄外に構成する市町村を注記すること。

※3 実施しない事業の欄は削除して構わない。

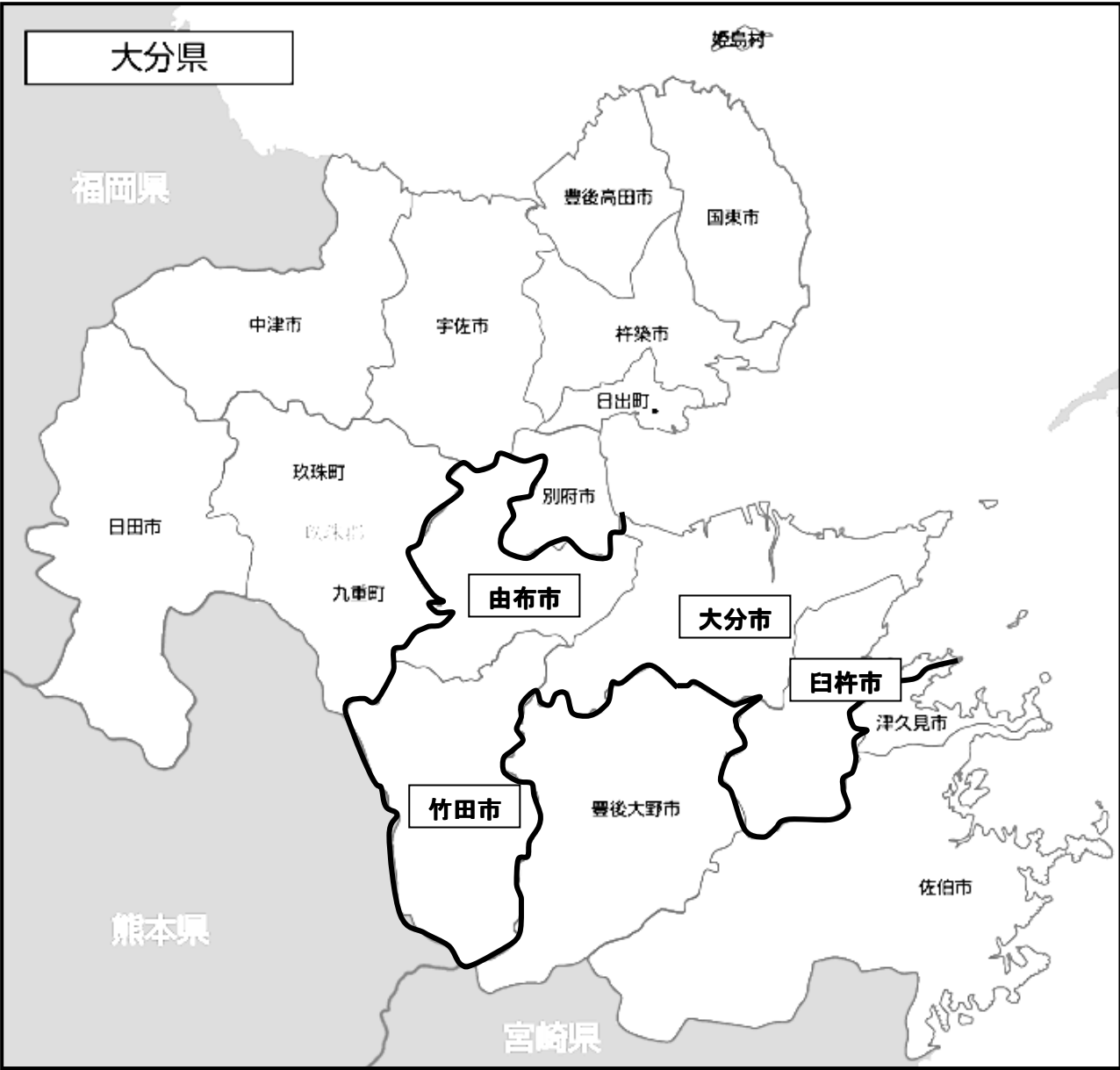
※4 同一施設の整備であっても交付金を受ける事業主体ごとに記載。

様式 3

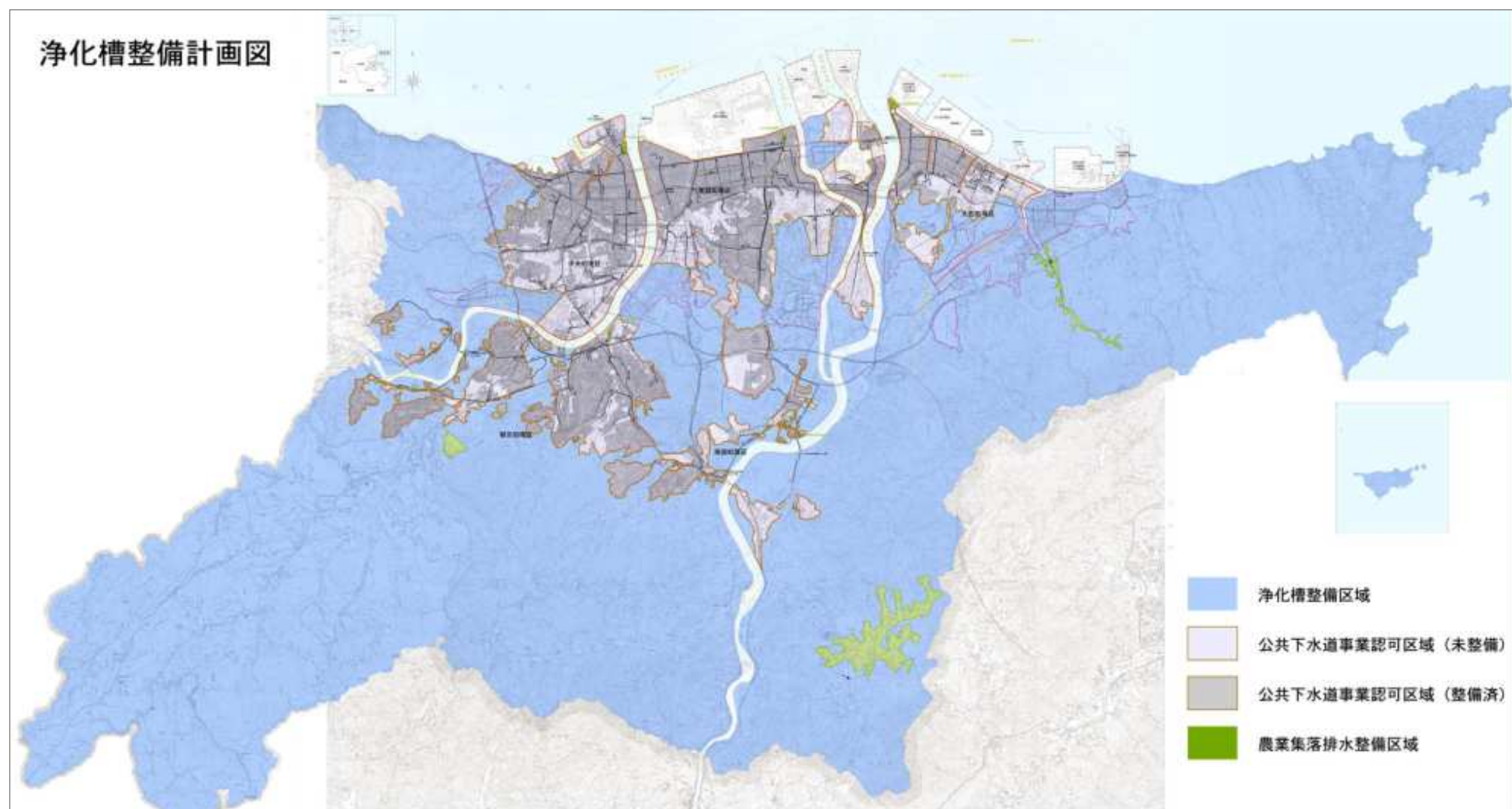
地域の循環型社会形成推進のための施策一覧

施策 種別	事業 番号 ※1	施策の名称	施策の内容	実施 主体	事業期間 交付期間		交付 金必 要の 要否	事業計画						備 考
					開始	終了		平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	
発生抑制、再使用の推進に関するもの	11	生ごみの減量化	生ごみ処理機器・容器の購入補助や貸与・支給により生ごみの減量化を推進する。	大分地域各市	H4	H26		補助・貸与事業の実施						
	12	有料化	家庭ごみの排出時の指定袋の導入とその有料制について検討する。	大分市	H19	H26		有料化制度導入の検討及び住民説明・制度設計等普及啓発						
			平成17年度より実施しているごみ袋の有料化に対して、リバウンドが生じないような啓発活動を実施する。	臼杵市	H21	H26		リバウンド対策に向けた啓発						
			一般持ち込みごみの手数料改定	竹田市	H21	H26		啓発、導入、定着促進						
			ワンウェイ容器、過剰包装の抑制方策を検討するとともに、消費者、販売業者に対し普及・啓発を行う。また、九州7県で取組んでいる「マイバックキャンペーン」についても積極的に取組んでいくものとする。	大分地域各市	H21	H26		容器包装の抑制の啓発						
	14	再生品の使用の推進	庁用品に関しては再生品の使用を推進する。	大分地域各市	H21	H26		庁用品の使用の推進						
	15	廃食用油のリサイクル	PTA等の団体にて実施する廃食用油の回収リサイクル事業の普及啓発を図る。	大分市	H22	H26		普及啓発						
				竹田市	H21	H26		普及啓発						
処理体制の構築、変更に関するもの	16	環境教育	ごみの流れについての理解を深めるとともに、ごみを減らす工夫を学ぶことを通じて、環境とくらしについて考えるため、小学生を対象に社会科の副読本(データ版)を作成し学校教育において活用する。	大分地域各市	S53	H26		小学生を対象に環境教育						
	17	普及・啓発	ごみ減量・リサイクル施策について、市民及び事業所に対して各種イベント等を活用し普及啓発を行う。	大分地域各市	S47	H26		普及啓発						
	21	事業系一般廃棄物の減量・リサイクルの推進	「事業系廃棄物の減量・適正処理の手引き」を活用することにより事業者への啓発活動やごみ分別の指導を行う。	大分地域各市	H21	H26		啓発・指導						
	22	福宗環境センターリサイクルプラザでの資源物の処理	リサイクルプラザの稼働に伴い分別区分を12分別としており、今後ともごみ減量・リサイクルを推進する。	大分市	H19	H26		ごみ減量・リサイクルの啓発						
処理施設の整備に関するもの	37	不燃ごみ処理設備更新工事に伴う発注者支援業務	整備計画、技術評価、発注仕様書の作成	臼杵市	H26	H26	○							計画設計
	1	福宗環境センター清掃工場整備(長寿命化)		大分市	H24	H26	○				整備工事			
	2-1	臼杵市清掃センター(焼却施設)解体事業	(仮称)臼杵市ストックヤード施設整備を行うために、臼杵市清掃センター(焼却施設)の建屋を有効利用した上で、屋内の機器類及び煙突の解体撤去を実施する。	臼杵市	H23	H23	○			解体工事				
	2-2	(仮称)臼杵市ストックヤード整備事業	臼杵市清掃センター(焼却施設)の跡地利用として資源物のストックヤードを整備す	臼杵市	H25	H25	○					建設工事		
	3	リサイクルセンター		竹田市	H21	H23	○	建設工事						
	4	竹田市衛生センター整備(長寿命化)	老朽化した施設・設備を長寿命化するため整備	竹田市	H25	H25	○					設備工事		
	5	浄化槽設置整備事業	浄化槽の設置	大分市	H22	H26	○	浄化槽整備						
				竹田市	H21	H35	○	浄化槽整備						
				由布市	H21	H26	○	浄化槽整備						
施設整備に係る計画支援に関するもの	31	2-1の計画支援	事前調査業務		H21	H21	○	事前調査						
	32	2-1の計画支援	基本計画・発注仕様書等作成業務	臼杵市	H22	H22	○		計画設計					
	33	2-2の計画支援	実施設計業務		H24	H24	○				実施設計			
	34	3の計画支援	施設基本設計		H21	H22	○	基本設計						
	35	3の計画支援	生活環境影響調査	竹田市	H21	H22	○	環境調査						
	36	3の計画支援	施設実施設計		H21	H22	○	実施設計						
長寿命化計画策定支援に関するもの	41	1の計画支援	長寿命化計画策定	大分市	H23	H23	○			計画作成				
	42	4の計画支援	長寿命化計画策定	竹田市	H24	H24	○				計画作成			
その他	51	災害時の廃棄物処理体制の整備	災害廃棄物処理計画を踏まえた体制整備		H22	H26		体制整備に向けた協議						
	52	不法投棄対策	啓発の充実と監視・パトロールの強化、監視カメラでの常時監視	大分地域各市	H9	H26		パトロールの強化・監視カメラでの常時監視						
	53	廃家電等のリサイクルの推進	適切な回収及び再商品化がなされるように、関係団体や小売店と協力して普及啓発を推進する。		H21	H26		充実強化						

【資料 1】 対象地域図



【資料 1－2】 浄化槽整備計画図



【資料2】

分別区分説明資料

平成26年度時

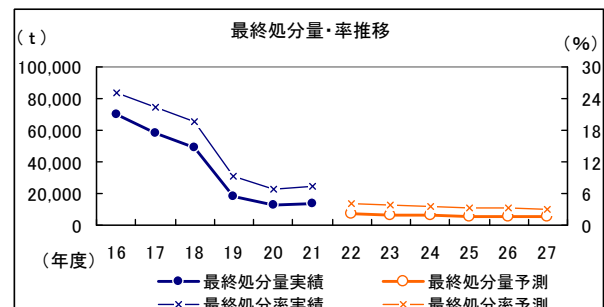
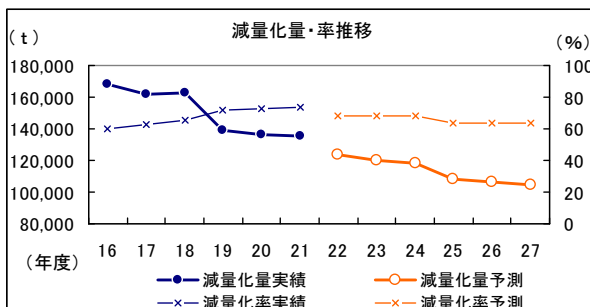
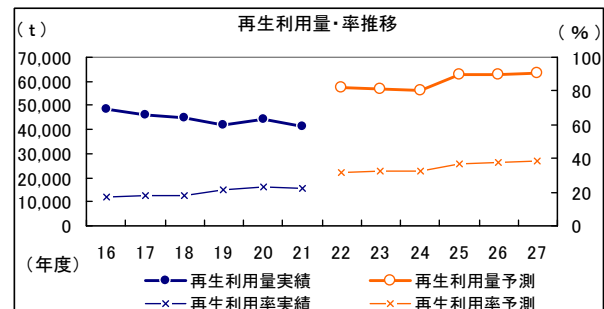
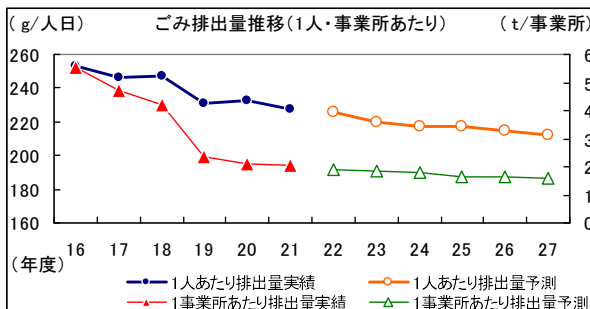
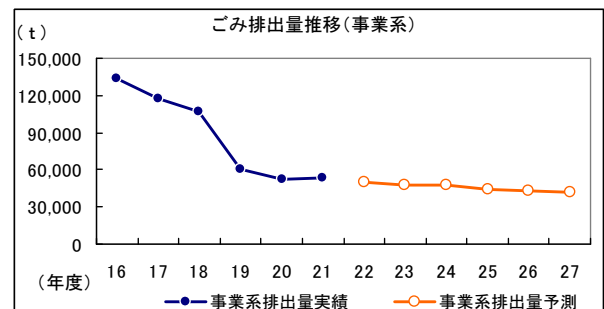
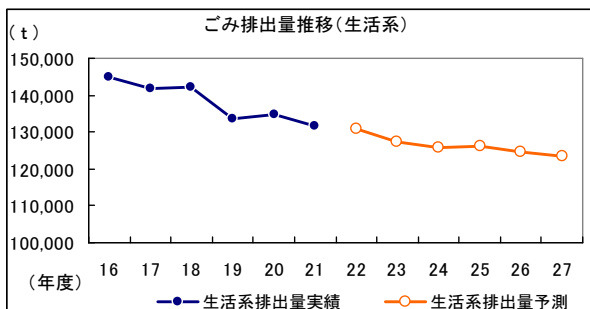
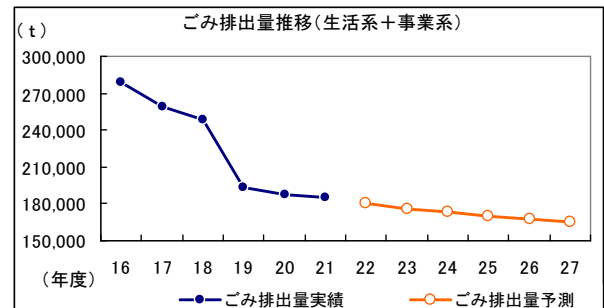
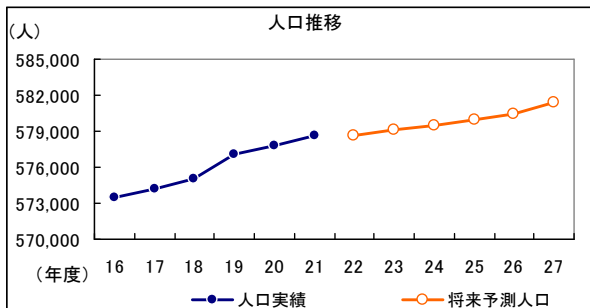
分別区分	対象ごみ
燃やせるごみ	・生ごみ、紙くず ・紙おむつ ・市販の犬、猫のペットシート・砂 ・プラスチック類、ビニール類(プラスチック製容器包装類を除く) ・天ぷら油(食用油は紙や布などに染み込ませるか市販の固形剤で固める) ・剪定枝、落葉、庭の草(太さ5cm以内で長さ50cm以内のもの) ・リサイクルできない衣類(45ℓの袋に入るもの) ・木、板くず ・ぬいぐるみ等(45ℓの袋に入るもの) ・座布団等 ・皮革、ゴム類
燃やせないごみ	・ガラス類、陶磁器類、金属類 ・小型電気器具、その他等
スプレー缶	・スプレー缶
乾電池	・乾電池
缶・びん	缶類 ・アルミ・スチールの飲料缶 ・海苔缶 ・ミルク缶 ・クッキー缶 びん類(ビール瓶、1.8ℓ瓶は地域の有価物集団回収へ) ・洋酒類(ワイン・ウイスキーなど) ・飲料類(ジュース・栄養ドリンク剤など) ・食品類(ジャム・インスタントコーヒーなど)
ペットボトル	・飲料類(ジュース・焼酎・水など) ・調味料類(醤油)
新聞類	・新聞 ・チラシ等
その他紙類	・雑誌 ・段ボール ・紙パック ・紙箱等
衣類	・衣類 ・その他布(シーツ・タオル・毛布)
プラスチック製容器包装	プラスチック製容器 ・洗剤容器、トレイ、ラップ類 プラスチック製袋類 ・レジ袋、食料品菓子袋類 品物包装プラスチック類 ・品物固定用発泡スチロール、郵便物包装類等 カップ類・その他 ・食品カップ麺容器、チューブ製品容器
蛍光管・電球・水銀体温計	・蛍光管 ・電球 ・水銀体温計
大型多量ごみ	・転居、大掃除で多量に出たごみ ・応接セット、家具類、自転車等 ・布団類、カーペット、畳(半分に切る)

【資料3】 現有処理施設の概要

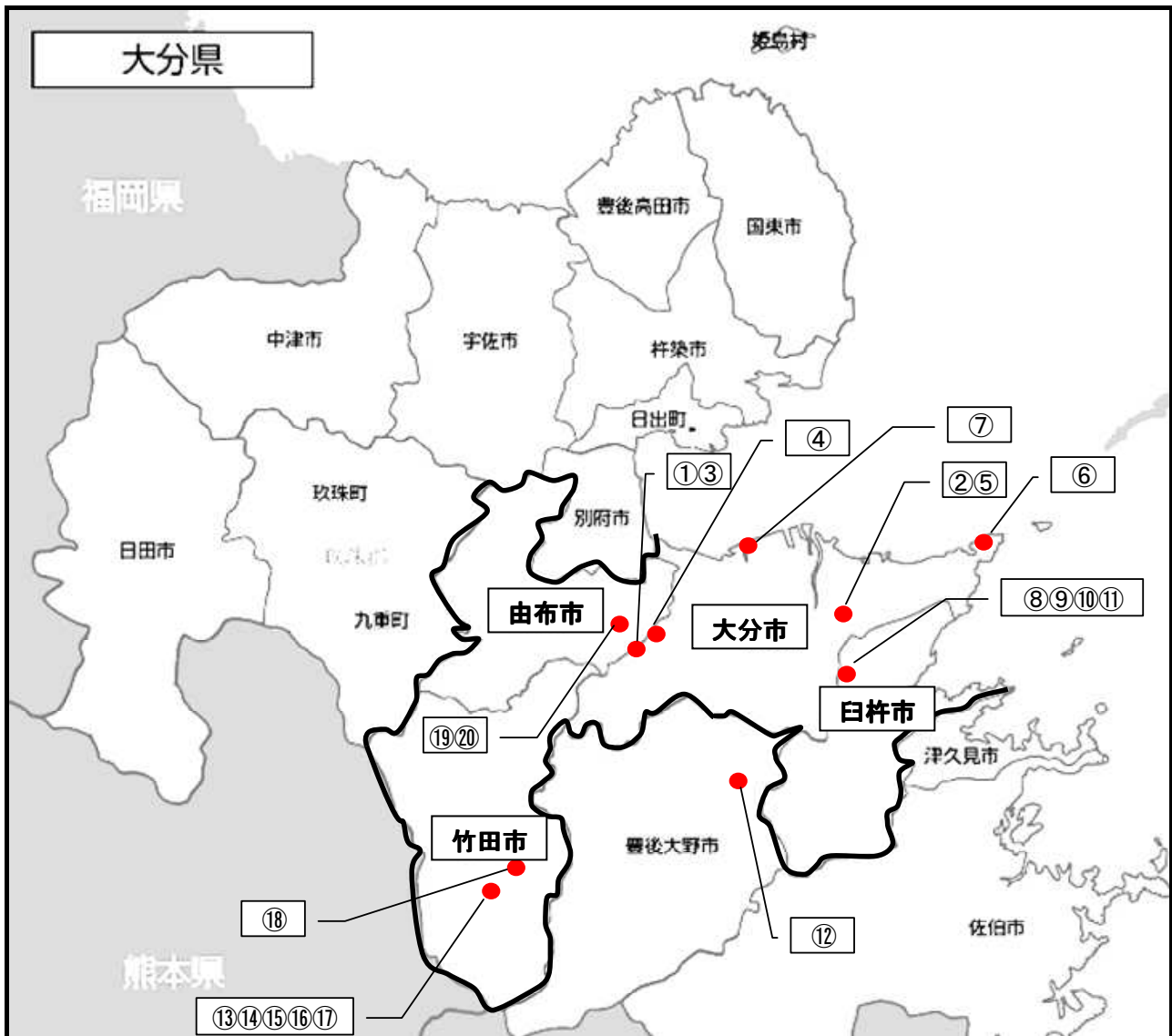
事業主体	施設名称	施設種類	処理する廃棄物	処理能力	所在地	竣工年
大分市	福宗環境センター 清掃工場	熱回収施設	可燃ごみ	438t/日	大分市大字福宗618番地	H9
	福宗環境センター リサイクルプラザ	マテリアルリサイクル	資源ごみ、不燃ごみ、 粗大ごみ	166t/10h	大分市大字福宗618番地	H19
	佐野清掃センター 清掃工場	熱回収施設	可燃ごみ	387t/日	大分市大字佐野3400番地の10	H15
	佐野清掃センター 埋立場	最終処分場	不燃ごみ	1,124,000m³	〃	S61
	福宗環境センター 鬼崎埋立場	最終処分場	不燃ごみ	2,840,000m³	大分市大字鬼崎647番地	S47
	大洲園処理場	し尿処理施設	し尿、浄化槽汚泥	390kl/日	大分市西新地1丁目7番3号	H14
	関崎清浄園埋立場	最終処分場	不燃ごみ	22,000m³	大分市大字関2の4057番地の1	H10
臼杵市	豊後大野市清掃センター	准連続燃焼式 (流動床式焼却炉)	可燃ごみ、直接搬入 ごみ、破碎残渣	50t/日 (25t/日×2炉)	豊後大野市三重町上田原1936-5	平成10年4月
	臼杵市不燃物処理センター	破碎・選別	不燃ごみ、粗大ごみ (不燃性)	不燃ごみ：15t/日 粗大ごみ：15t/日	臼杵市大字久木小野1110-2	不燃ごみ： 平成元年4月 粗大ごみ： 平成16年8月
	豊後大野市清掃センター	破碎・選別・圧縮・梱包	不燃ごみ、粗大ごみ、 資源ごみ	22t/日	豊後大野市三重町上田原1936-5	平成10年4月
	臼杵市不燃物処理センター (クローズドシステム処分場)	遮水シート+ベントナイト混合土 +漏水検知システム	粗大ごみ選別残渣、 不燃ごみ選別残渣	埋立面積：7,200m² 埋立容積：71,000m³	臼杵市大字久木小野1110-2	平成16年8月
竹田市	清掃センター 中継施設	コンパクター・コンテナ方式	可燃ごみ	32t/5h	竹田市荻町馬背野89番地	H15.1
	清掃センター 不燃物処理施設	破碎・選別	不燃ごみ、資源ごみ	10t/5h	竹田市荻町馬背野89番地	S56.3
	清掃センター 可燃性粗大ごみ処理施設	破碎	粗大ごみ	3.5t/5h	竹田市荻町馬背野89番地	H15.5
	清掃センター 最終処分場	最終処分場	不燃ごみ	32,661m³	竹田市荻町馬背野89番地	S58.3
	衛生センター	し尿処理施設	し尿、浄化槽汚泥	40kl/日	竹田市片ヶ瀬764-1	H2.3
由布市	環境衛生センター	し尿処理施設	し尿・浄化槽汚泥	45kl/日	由布市狭間町鬼崎718番地の1	H1
	環境衛生センター	し尿処理施設	し尿・浄化槽汚泥	35kl/日	由布市狭間町鬼崎718番地の1	H16

【資料４】 指標に関するトレンドグラフ

年度		実 績						将 来 予 測					
指標	単位	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
人口	人	573,441	574,249	575,039	577,118	577,781	578,695	578,665	579,080	579,483	579,968	580,476	581,364
排出量	t/年	279,184	258,746	248,878	193,537	187,505	185,354	180,905	175,489	173,229	169,772	167,471	165,196
生活系排出量	t/年	145,107	141,661	142,159	133,497	134,641	131,776	130,867	127,278	125,802	126,030	124,760	123,530
1人あたり	kg/人	253.0	246.7	247.2	231.3	233.0	227.7	226.2	219.8	217.1	217.3	214.9	212.5
事業系排出量	t/年	134,077	117,085	106,719	60,040	52,864	53,578	50,038	48,211	47,427	43,742	42,711	41,666
1事業所あたり	t/事業所	5.6	4.7	4.2	2.4	2.1	2.0	1.9	1.8	1.8	1.7	1.6	1.6
再生利用量	t/年	48,624	45,913	45,136	41,960	44,045	41,459	57,405	56,687	56,071	62,965	63,115	63,353
(再生利用率)	%	17.4	17.7	18.1	21.7	23.5	22.4	31.7	32.3	32.4	37.1	37.7	38.4
集団回収量	t/年	7,770	7,433	7,492	6,188	5,805	5,550	7,598	7,613	7,629	7,643	7,656	7,669
直接資源化量	t/年	11,779	11,691	12,314	17,053	15,533	14,363	18,399	18,479	18,547	18,621	18,692	18,765
処理後再生利用量	t/年	29,075	26,789	25,330	18,719	22,707	21,546	31,408	30,595	29,895	36,701	36,767	36,919
減量化量	t/年	168,629	162,225	162,424	139,526	136,468	135,762	123,496	119,809	118,569	108,597	106,500	104,322
(減量率)	%	60.4	62.7	65.3	72.1	72.8	73.2	68.3	68.3	68.4	64.0	63.6	63.2
最終処分量	t/年	69,701	58,041	48,810	18,239	12,796	13,683	7,602	6,606	6,218	5,853	5,512	5,189
(最終処分率)	%	25.0	22.4	19.6	9.4	6.8	7.4	4.2	3.8	3.6	3.4	3.3	3.1



【資料５】 地域内の施設の現況と予定



【凡例】

番号	施設種別	事業主体	施設名称		処理能力
①	熱回収施設	大分市	福宗環境センター	清掃工場	438 t/日
②	〃		佐野清掃センター	清掃工場	387 t/日
③	リサイクル施設		福宗環境センター	リサイクルプラザ	166 t/10h
④	最終処分場		〃	鬼崎埋立場	2,840,000 m ³
⑤	〃		佐野清掃センター	埋立場	1,124,000 m ³
⑥	〃		関崎清浄園	〃	22,000 m ³
⑦	し尿処理施設		大洲園処理場	〃	390 kl/日
⑧	リサイクル施設	臼杵市	ストックヤード	〃	約 373 m ²
⑨	〃		不燃物処理センター	不燃ごみ	4 t/日
⑩	〃		〃	粗大ごみ	15 t/日
⑪	最終処分場		〃	埋立場	71,000 m ³
⑫	焼却施設	豊後大野市	豊後大野市清掃センター	清掃工場	50 t/日
⑬	リサイクル施設	竹田市	清掃センター	リサイクルセンター	6.7 t/日
⑭	焼却施設		〃	中継施設	32 t/日
⑮	リサイクル施設		〃	不燃物処理施設	10 t/5h
⑯	〃		〃	可燃性粗大ごみ処理施設	3.5 t/5h
⑰	最終処分場		〃	埋立場	32,661 m ³
⑱	し尿処理施設	由布市	衛生センター	〃	40 kl/日
⑲	し尿処理施設		環境衛生センター	〃	45 kl/日
⑳	〃	〃	〃	〃	35 kl/日

※ 太線が今回予定施設

施設概要（リサイクル施設系）

都道府県名 大分県

(1) 事業主体名	竹田市
(2) 施設名称	（仮称）竹田市リサイクルセンター
(3) 工期	平成 21 年度～平成 23 年度
(4) 施設規模	処理能力 6.7 t / 5h
(5) 処理方式	破碎・選別・圧縮・梱包
(6) 地域計画内の役割	容器包装リサイクル法に基づく、容器包装廃棄物のリサイクルの推進 不燃・粗大ごみからの資源化物回収
(7) 廃焼却施設解体工事の有無	☒ 有 無 （廃炉：15t/h×2炉 平成14年12月稼働停止）

(12) 事業計画額	総事業費： 1,015,700 千円 交付金対象事業費： 1,015,700 千円
------------	--

施設概要（リサイクル施設系）

都道府県名 大分県

(1) 事業主体名	臼杵市
(2) 施設名称	臼杵市ストックヤード
(3) 工期	平成 23 年度～平成 25 年度
(4) 施設規模	約 373 m ² （機械設備解体撤去後の平面スペース） 約 71 m ² （保管品の平面スペース：作業車両等の動線面積除く）
(5) 処理方式	—
(6) 地域計画内の役割	資源ごみの保管スペースの確保
(7) 廃焼却施設解体工事の有無	☒ 有 無

「ストックヤード」を整備する場合

(10) スtock対象物	圧縮成型品保管（古紙類、缶・金属類、ペットボトル、プラスチック製容器包装）、コンテナ保管（選別処理後の資源化物）
---------------	--

(12) 事業計画額	
リサイクルセンター整備費 （内解体工事費）	289,000 千円 （ 209,000 千円 ）
事業計画額	289,000 千円

施設概要（熱回収施設系）

都道府県名 大分県

(1) 事業主体名	大分市
(2) 施設名称	大分市 福宗環境センター 清掃工場
(3) 工期	平成24年度～平成26年度
(4) 施設規模	処理能力 438 t/日 (146 t/日×3炉)
(5) 型式及び処理方式	全連続燃焼式ストーカ炉
(6) 余熱利用の計画	1. 発電の有無 有(発電効率 %) ・ ☐ 無 2. 熱回収の有無 有(熱回収率 %) ・ ☐ 無
(7) 地域計画内の役割	循環型社会を維持するため、老朽化している清掃工場の延命化を図り、安定処理及びCO ₂ 削減を目指し本計画の対象地域である4市の可燃ごみの広域処理を行うものである。
(8) 廃焼却施設解体工事の有無	有 ☐ 無

(12) 事業計画額	総事業費： 2,385,790 千円
------------	--------------------

施設概要（し尿処理施設系）

都道府県名 大分県

(1) 事業主体名	竹田市
(2) 施設名称	竹田市衛生センター
(3) 工期	平成25年度
(4) 施設規模	処理能力 40KL/日
(5) 処理方式	標準
(6) 地域計画内の役割	老朽化した施設・設備を長寿命化するため、整備し、効率化・省力化を図りコストを削減する。
(7) 廃焼却施設解体工事の有無	無

「汚泥再処理センター」を整備する場合

(8) 省力化の方法	—
(9) 資源化物の利用計画	—

「コミュニティ・プラント」を整備する場合

(10) 計画処理人口及び面積	—
(11) 計画地域の性格	—

(12) 事業計画額	総事業費 179,000千円
------------	----------------

施設概要（浄化槽系）

都道府県名 大分県

(1) 事業主体名	大分市
(2) 事業名称	浄化槽設置整備事業
(3) 事業の実施目的及び内容	浄化槽の整備拡充を推進することにより、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に寄与するため。
(4) 事業期間	平成 22 年度～平成 26 年度
(5) 事業対象地域の要件	大分市域のうち浄化槽設置整備事業実施要綱第 3 (1) のア (イ) 及び (エ) 並びにイ (イ) に規定する地域とする。ただし、農業振興地域の整備に関する法律第 8 条第 1 項又は第 9 条第 1 項の規定による農業振興地域整備計画に基づく農業集落排水事業の認可を受けた区域を除く。
(6) 事業計画額	交付対象事業費 538,208 千円 うち (以下の事業を実施する場合) ・低炭素社会対応型浄化槽整備推進事業に係る事業費 0 千円 ・浄化槽整備区域促進特別モデル事業に係る事業費 0 千円

○ 事業計画額の内訳及び浄化槽の整備規模

【浄化槽設置整備事業の場合】

(単位：千円)

区分	交付対基数 (人分)	うち 単独撤去	基準額	対象経費 支出予定額	交付対象 事業費
5 人槽	1,132 基 (5,660 人分)	306 基	403,364	496,948	403,364
6～7 人槽	270 基 (1,890 人分)	100 基	119,980	133,920	119,980
8～10 人槽	26 基 (260 人分)	11 基	14,864	15,704	14,864
11～20 人槽	基 (人分)	基			
21～30 人槽	基 (人分)	基			
31～50 人槽	基 (人分)	基			
51 人槽以上	基 (人分)	基			
改 築	基				
計画策定調査費					
合 計	1,428 基 (7,810 人分) 改築を除く	417 基	538,208	646,572	538,208

【浄化槽市町村整備推進事業の場合】

区分	交付対基数 (人分)	うち 単独撤去	基準額	対象経費 支出予定額	交付対象 事業費
5人槽	基 (人分)	基			
6～7人槽	基 (人分)	基			
8～10人槽	基 (人分)	基			
11～15人槽	基 (人分)	基			
16～20人槽	基 (人分)	基			
21～25人槽	基 (人分)	基			
26～30人槽	基 (人分)	基			
31～40人槽	基 (人分)	基			
41～50人槽	基 (人分)	基			
51人槽以上	基 (人分)	基			
事務費等	必要に応じて区分名を修正して記載				
合 計	基 (人分)	基			

○ 事業対象地域が「経済的・効率的である地域」の場合の経済性・効率性の比較

(複数の地区が該当する場合は、当該地区ごとに下表を添付すること)

市町村総人口

市町村世帯数

対象地域人口

対象地域世帯数

	総建設費	1年当たり 建設費	1年当たり 維持管理費	1年当たり コスト
集合処理で整備した場合				
個別処理で処理した場合				

施設比較検討の積算内容資料を添付(様式は自由)

施設概要（浄化槽系）

都道府県名 大分県

(1) 事業主体名	竹田市
(2) 整備計画の方針	農業集落排水事業実施区域及びコミュニティ・プラント区域を除く竹田市全域を浄化槽市町村整備推進事業で整備する。
(3) 事業の実施目的及び内容	浄化槽の整備することにより、水質汚濁の防止と生活環境の保全を図る。
(4) 設置整備事業の整備計画	有（平成21年度～平成35年度）
(5) 浄化槽整備状況 （実使用人口で記入）	平成19年度整備計画人口/全体整備計画人口（％） 76.27％ 平成26年度までの整備人口/全体整備人口（％） 92.30％
(6) 具体的な整備計画	総事業費 766,632 千円（整備計画人口2,109人分） 選定額 725,880 千円 所要額 725,880 千円

○ 交付金対象となる浄化槽の整備規模及び選定額（内訳）

※ 個人設置型と市町村設置型とを明記し、双方の整備がある場合は、表を分けて記載のこと

【市町村設置型】

（単位：千円）

人槽区分	交付対象基数 （人分）	基準額	対象経費 支出予定額	選定額
5人槽	433基（1,083人分）	361,421	344,733	344,733
6～7人槽	233基（816人分）	234,620	225,624	225,624
8～10人槽	42基（210人分）	55,658	53,524	53,524
11～20人槽	12基（0人分）	27,188	26,253	26,253
21～30人槽	8基（0人分）	25,001	23,418	23,418
31～50人槽	8基（0人分）	35,039	32,005	32,005
51人槽以上	2基（0人分）	27,705	20,323	20,323
合 計	738基（2,109人分）	766,632	725,880	725,880

○ 事業対象地域が「経済的・効率的である地域」の場合の経済性・効率性の比較

（複数の地区が該当する場合は、当該地区ごとに下表を添付すること）

市町村総人口 26,501人 市町村世帯数 10,653世帯

対象地域人口 23,841人 対象地域世帯数 9,639世帯

（単位：千円）

	総建設費	1年当たり 建設費	1年当たり 維持管理費	1年当たり コスト
集合処理で整備した場合	1,848,573	31,938	25,305	57,243
個別処理で整備した場合	918,050	35,310	60,560	95,870

施設比較検討資料

集合処理検討地区 (商業区域)

自治会名	世帯数 戸	人口 人
西古町	37	63
東古町	28	57
浦町	81	104
慶順町	32	64
中本町	13	33
下本町	30	64
東本町	27	52
下町	53	96
府内町	20	38
向町	10	23
田町	42	102
新町	31	65
上本町	45	94
上町	37	73
殿町	39	73
久戸	32	68
寺町	36	73
溝川	78	159
鷹匠町	41	91
杣谷	44	105
南高校	22	22
計	778	1,519
流入件・人口	80	1,250
合計	858	2,769
区域面積	28ha	

農業集落排水処理区域

	世帯数	人口
桜町地区	434 戸	1,123 人
久住地区	359 戸	927 人
計	793 戸	2,050 人

	桜町地区	久住地区	計
日最大汚水量	478m ³ /日	446m ³ /日	924m ³ /日
計画戸数	426m ³ /日	351m ³ /日	777m ³ /日
1戸日最大汚水量	1m ³ /日	1m ³ /日	1m ³ /日

竹田商業地域公共下水道設置概算

日最大汚水量	1,020 m ³ /日
処理場建設費	230.9 千円*日最大汚水量+145,980 =381,573 千円
管渠	65 千円*20,000m=1,300,000 千円
	35 千円*1,000m=35,000 千円
マンホール	8,800 千円*15 基=132,000 千円
計	1,848,573 千円

浄化槽を設置した場合

設置費	1,070 千円*858 基=918,060 千円
-----	---------------------------

建設費比較

	建設費	耐用年数	1年当たり
処理施設	381,573 千円	33 年	11,563 千円
管渠施設	1,467,000 千円	72 年	20,375 千円
計	1,848,573 千円		31,938 千円
浄化槽	918,060 千円	26 年	35,310 千円

維持管理費

処理施設	21,107 千円*(1,020/1,000)= 0.4692	21,108 千円
管渠	0.057 千円*21,000m=	1,197 千円
マンホール	200 千円*15 基=	3,000 千円
計		25,305 千円

施設概要（浄化槽系）

都道府県名 大分県

(1) 事業主体名	由布市
(2) 整備計画の方針	公共下水道認可区域及び農業集落排水区域を除く市内全域
(3) 事業の実施目的及び内容	河川の水質汚濁防止のため、既存の生活排水処理区域外における生活排水処理を行うために、合併処理浄化槽での整備を推進する。
(4) 設置整備事業の整備計画	有（平成21年度～平成26年度）
(5) 浄化槽整備状況 （実使用人口で記入）	平成18年度整備計画人口/全体整備計画人口（％） 20％ 平成17年度までの整備人口/全体整備人口（％） 0％
(6) 具体的な整備計画	総事業費 440,460 千円（整備計画人口3,000人分） 選定額 146,820 千円 所要額 146,820 千円

○ 交付金対象となる浄化槽の整備規模及び選定額（内訳）

※ 個人設置型と市町村設置型とを明記し、双方の整備がある場合は、表を分けて記載のこと

（単位：千円）

人槽区分	交付対象基数 （人分）	基準額	対象経費 支出予定額	選定額
5人槽	948基（2,844人分）	335,592	335,592	111,864
6～7人槽	240基（720人分）	98,640	98,640	32,880
8～10人槽	12基（36人分）	6,228	6,228	2,076
11～20人槽	基（0人分）			
21～30人槽	基（0人分）			
31～50人槽	基（0人分）			
51人槽以上	基（0人分）			
合 計	1,200基（3,600人分）	440,460	440,460	146,820

○ 事業対象地域が「経済的・効率的である地域」の場合の経済性・効率性の比較

（複数の地区が該当する場合は、当該地区ごとに下表を添付すること）

市町村総人口

市町村世帯数

対象地域人口

対象地域世帯数

（単位：千円）

	総建設費	1年当たり 建設費	1年当たり 維持管理費	1年当たり コスト
集合処理で整備した場合				
個別処理で整備した場合				

計 画 支 援 概 要

都道府県名 大分県

(1) 事業主体名	大分市
(2) 事業目的	福宗環境センター 清掃工場 基幹的設備改良事業
(3) 事業名称	福宗環境センター 清掃工場 廃棄物処理施設の基幹的設備改良事業
(4) 事業期間	平成 23 年度
(5) 事業概要	既存施設の老朽化による機能低下に対処するため、長寿命化整備計画策定を行う。
(6) 事業計画額	3,500 千円

計 画 支 援 概 要

都道府県名 大分県

(1) 事業主体名	臼杵市		
(2) 事業目的	臼杵市清掃センター（焼却施設）の解体撤去にあたって、事前調査を実施する。	事前調査結果をもとに、臼杵市清掃センター（焼却施設）の解体工事に係る各種計画業務を実施する。	（仮称）臼杵市ストックヤード整備に向けた実施設計業務を実施する。
(3) 事業名称	臼杵市清掃センター（焼却施設）解体工事に係る事前調査業務	臼杵市清掃センター（焼却施設）解体工事に係る基本計画・発注仕様書等作成業務	（仮称）臼杵市ストックヤード整備工事に係る実施設計業務
(4) 事業期間	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 24 年度
(5) 事業概要	ダイオキシン類等調査分析	基本設計作成、見積仕様書作成、技術評価書作成、発注仕様書作成	実施設計図書作成
(6) 事業計画額	5,000 千円	3,000 千円	3,000 千円

計 画 支 援 概 要

都道府県名 大分県

(1) 事業主体名	竹田市		
(2) 事業目的	リサイクルセンター 施設整備のため		
(3) 事業名称	基本設計業務委託	生活環境影響 調査業務委託	実施設計業務委託
(4) 事業期間	平成 21 年度～ 平成 22 年度	平成 21 年度～ 平成 22 年度	平成 21 年度～ 平成 22 年度
(5) 事業概要	施設整備に係る 基本設計	施設整備に係る 生活環境影響調査	施設整備に係る 実施設計

(6) 事業計画額	総事業費	総事業費	総事業費
	14,300 千円	2,500 千円	10,600 千円
	交付金対象	交付金対象	交付金対象
	14,300 千円	2,500 千円	10,600 千円

計 画 支 援 概 要

都道府県名 大分県

(1) 事業主体名	竹田市
(2) 事業目的	竹田市衛生センター長寿命化を図るための計画策定
(3) 事業名称	竹田市衛生センター長寿命化計画策定事業
(4) 事業期間	平成 2 4 年度
(5) 事業概要	老朽化した施設・設備の機能低下に対処するため長寿命化計画の策定をする。

(6) 事業計画額	5, 0 0 0 千円
-----------	-------------

計 画 支 援 概 要

都道府県名 大分県

(1) 事業主体名	臼杵市
(2) 事業目的	不燃ごみ処理設備の老朽化に伴う更新事業を推進するための計画支援事業
(3) 事業名称	不燃ごみ処理設備更新工事に伴う発注者支援業務
(4) 工期	平成 2 6 年度
(5) 事業概要	整備計画、技術評価、発注仕様書の作成

(6) 事業計画額	4, 5 0 0 千円
-----------	-------------